

Acty-Challenge Newspaper

ACNP

5

2012.5.20
No.201028



社長メッセージ「経営指針書の発刊にあたって」

CSスタッフ養成塾 Vol.26

ほっと一息「笠間の陶炎祭(ひまつり)」

企業紹介「(株)カナメ」

今月のおすすめ「くろまめや」

今月の4コマまんが「名刺交換」

- 年間スローガン 『頼れるパートナー アクティチャレンジ』 ●
- 月間スローガン 『輝く未来に笑顔を アクティチャレンジ』 ●

「経営指針書の発刊にあたって」

経営指針はなぜ必要か…

中小企業をめぐる状況は一段と厳しくなっています。産業の空洞化、地域経済が危機にさらされ、市場も成熟化が進み、量より質へ、本物志向。IT化も本格化

しています。従来の経営のやり方では対応できません。環境の変化を的確にとらえ、ぶれない座標軸を持った経営が必要。これまでの事業領域や経営活動の仕方を見直し、新たに企業を創業する気持ちで、抜本的に事業のあり方を再構築し「第二の創業」が必要といわれています。40年、50年続いた老舗企業が倒産しています。右肩上がりの時代なら「黙って俺についてこい」でも通用しましたが、現在は通用しないと思います。

社員の誰もが納得し、安心してついていけるような自社の今後進むべき方向を的確な方針としての「経営指針書」は必要であります。経営指針書が目指すものは、「自立型企業」とそれを支える「自主的社員」を育成することです。経営指針

の確立とそれを社員とともに実践していくことで会社が絶対に変わっていきま

す。
4年前に一度経営指針書を作成しましたが、今回平成24年6月度〜平成27年5月度の経営指針書を作成いたしました。経営指針は「経営理念」「経営方針」「経営計画」の三つの構成になっております。具体的には下記の通りとなっております。

「経営理念」…会社の目的、何のために経営しているのか、どのような会社を目指したいかという経営者の想い(大切にしている価値観、人生観)を文章の形で経営理念として社員に提示し、社員との理念の共有化をめざすことが目的。そして経営理念が社風になればと思っております。

「経営方針」…経営理念の実現をめざしてその具体化、3カ年のあるべき姿と目標を示し、到達への道筋を示したものと

① 今後の事業展開

- ② 働きがいのある会社づくり
- ③ 企業の社会的責任の課題
- ④ 業績向上の課題

「経営計画」…理念・方針を具体化するために単年度で何をやるかを数値目標化したものです。一年間の売上高、利益等の目標、達成の手段、方策を全体および部門ごとに定めた実行計画です。

経営指針書を自社内に留めておくだけでなく金融機関ならびに取引先、仕入先、協力会社等に発信することでアクティチャレンジの経営姿勢を知ってもらい、対外的な信用力を高める上でも大きな効果を発揮すると思っております。社外に発信することで「私と社員の公約」といたします。なお、「経営指針書」ご希望があればお送りいたします。



代表取締役社長
中村雄三

CSスタッフ養成塾 Vol.26

『CSスタッフ育成研修(一般社員)』 『CSスタッフ育成研修第3期開校!』

いよいよ一般スタッフの育成研修も第3期をむかえました。今までよりワンステップアップを目指す上では、会社の強みをスタッフ全員で掘り起こす研修となりました。3グループそれぞれに話し合い、発表しあうことでもう一度アクティチャレンジというものを見直しました。

今回の研修を受講するにあたり、なぜこの研修が必要なのか。また、この研修の意図は何処にあるのかを考えてみた。

この不況の中、企業が生き残っていく為には新しいビジネスチャンスを探めるかどうか、今後の展開に大きく関わるのではないかと感じた。故にこの研修を受講することが数少ないチャンスを探む手段になるのではないかと考えた。

しかし、今までの自分自身を見つめると、ここまで深く考え、行動していなかったが、従業員一人ひとりが同じ考えを持ち、行動する事で、多くのビジネスチャンスを探み取り、経営理念にある「地域に愛され繁栄する」企業になりうるのではないかと考えた。

そのような企業になる為に、研修にあった「研修の目的及び、目的達成のため

めの重要な要素」を真に理解し、未熟な部分は研修で学び知識を身につけ、実践で生かせるように行動していきたい。

輸送二課 佐々木弥古武

今回の研修では、「自社の強みを考える」をテーマにしてグループワークを行いました。

「人が強み」「品質が強み」「社長の持つビジョン」という3つの強みを出し合いました。さらにそこから「どうやって強みを活かすのか」を話し合いまとめあげました。

今回の研修によって「アクティチャレンジらしさ」と見つけ出し、それを強みとして活かす方法を学びました。今後、少しでも自分の仕事に活用し取り組んでいけるように頑張りたいと思います。

輸送二課 今村 崇



CSマネジメント養成研修(幹部社員) 是正処置の実施方法

前回の研修で過去の実例を使用し原因追及を行ったものに対する是正予防方法を考える研修。各実例には必ず真の原因があり各グループごとにその原因を話し合い見つけ出しました。

今回の研修では、過去の事故事例をあげて、是正処置・予防処置報告書の作成方法について学びました。前回に引き続き、2つのグループに分かれてブレインストーミング法を用いて、事故の真の原因は何か？を追求し、発表しました。事故は何か一つの原因で起きている訳では当然ありません。いくつもの要因が複雑に絡み合っただけ起きています。その真の原因を追究する事の難しさを改めて実感する研修になりました。その後は是正処置の実施方法の流れを教えてくださいました。

「内容・応急処置・原因特定(真の原因は何か?)・再発防止策・実施方法・効果の確認・レビュー(振り返り)」の中で特に重要な項目は原因特定。しっかりと原因特定が実施できないと再発防止策が講じることが出来ない為である。注意すべき点としては、原因特定の中で原因が2つある場合、再発防止策は2つ。3つある場合は再発防止策は3つになると考えるという事。個人的にとっても重要な事と思った項目はレビュー(振り返り)でした。効果の確認は、再発防止になっっているかの効果を確認する事ですが、レビューでは応急処置・原因の特定に本当に問題はなかったのか?・再発防止策に抜け漏れはないのか?・効果の確認方法に問題はないのか?など全体を振り返って確認する事です。私達管理者は常に多くの事に疑問符をつけ、確認作業を怠らないことがとても重要だと感じた研修でした。

輸送部次長 金子 浩



ほっと一息…「笠間の陶炎祭(ひまつり)」

…今年31回目の開催となった茨城県笠間市の陶芸家たちの陶器市で、毎年GWに笠間芸術の森公園にて開催されています。

陶炎祭の会場に入り、最初に目に入るブースが笠間市の小学生による「土面フェスティバル」です。子供の頃から陶芸に触れ、自己を表現できる機会があるのは芸術の街ならではのイベントではないでしょうか。「特徴がないのが特徴」といわれる



笠間焼は自由な作品が多く、200店舗以上の個性あふれるお店が出店していました。会場は北側が「陶器ロード」、南側が「お祭りエリア」となっていて、陶器を売るのと同じですが「お祭りエリア」は手作りの小屋・内装で作家さんの個性が

光っていました。中央ステージでは様々なイベントが行われていますが、特に土面オークションは人気があります。若手～有名作家さんの作品が次々とオークションにかけられ、身近にオークションを体験する事がで

きます。全ての店舗を回って自分のお気に入りの作品を見つけると、その陶器を使う食事の時間やお茶の時間がより一層充実したものになります。笠間市内には「やきもの通り」や「ギャラリーロード」、「陶芸美術館」が歩いて回れる場所にありますので、お気に入りのやきものを探しにお出かけしてみたいかがでしょうか。 業務経理課 小田望月



整備工場にゆーす

『車検期限は大丈夫ですか?』

「車検切れ」の車は、公道を走ることとは出来ません!

車検が切れた自動車を公道で走らせると罰則があるのを知っていますか?

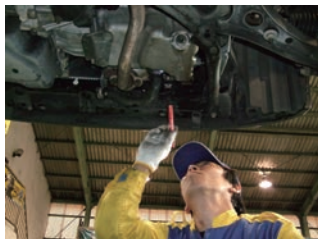
道交法では、無車検運行で6点減点・即免許停止となり、さらに自賠責保険も切れていると無保険運行となり、6点減点が加算され12点減点になります。

また、道路運送車両法の車検切れの罰則は、6ヶ月以下の懲役、または30万以下の罰金ととても厳しいものです。フロントガラスに貼つてある検査標章(ステッカー)や車

検証で期限を確認しましょう。

そして、期限内に弊社アクティチャレンジ整備工場で車検を受けていただくことをおすすめいたします。整備工場では、お客様にご満足いただける整備・点検をさせていただきますように努力しておりますので是非、ご来店お待ちしております。

車両整備部統括部長 松橋寿夫



企業紹介 (株)カナメ

東京都浅草の観光名所となっている浅草寺。雷門をくぐり、仲見世の先にある宝蔵門と、その先の本堂の屋根は瓦ではなく軽量のチタン製の屋根なのです。

この二つの改修工事に採用されたチタン屋根を開発・施工したのは、栃木県宇都宮市に本社がある(株)カナメ様です。

(株)カナメ様は1941年に福島県喜多方市で渡部要板金工業として創業されました。1983年に宇都宮に本社を移転し、現在では、住宅のトータルをプロデュースする「NR部門」、社寺建築の新築・改修を手がける「寺社部門」、最先端の安全性とクオリティを有する大型建築の屋根を創造する「ルーフ部門」、そして長年の屋根メーカーのノウハウを活かして開発した、オリジナル太陽光発電の流通販売を行う「ソーラー部門」の4部門を



中心に全国展開されています。

冒頭にもありました浅草寺様の改修工事の様子は(株)カナメ様のホームページにて見ることができます。参拝客を地震による瓦落下の被害から守るため、軽量のチタン瓦が採用されました。瓦の意匠をそのままに外観を損なわないよう、細かな瓦のまだら感も再現しており、耐震性と意匠性を兼ね備えた仕上がりになっております。

まもなく開業のスカイツリーと併せて、隅田川を挟んですぐ近くにある浅草寺のチタン屋根にも是非ご注目下さい。



浅草寺本堂



宝蔵門

ACTY WEB SITE <http://www.acty-challenge.com/>

物流の明日へ。

Tomorrow of distribution

株式会社アクティチャレンジ

■本社 千321-0152
栃木県宇都宮市西川田6丁目6番21号
TEL028-680-6411 (24時間年中無休)

■配送センター 千321-0112
栃木県宇都宮市厚板町656番3
TEL028-666-0501

■整備工場 千321-0112
栃木県宇都宮市厚板町700番4
TEL028-656-4342

事業内容
サポートエリア

商品・回収品の移送・配送運転、ルート便、貸切便、チャーター便・トラックレンタカー他
関東(栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県、神奈川県、東京都、千葉県)または関東近県をはじめ、日本全国へ展開中

タイトル「名刺交換」



今月のおススメ

豆、鳥を中心としたヘルシー料理屋さんです。

素材もこだわっているようで

【地鶏】佐賀県三瀬村産、自然の餌(米、麦、大豆)にこだわった「みつせ鶏」

【豆腐】佐野市出流原湧水仕込みの国産大豆で作った豆腐湯葉を使用

【豆】大平町ファームハウスの畑でできた大豆

【お米】大平町ファームハウスの有機肥料減農薬栽培の美味しいコシヒカリ

を使用しているそうです。

定番は、「豆御膳」でしょうか。

見ていただいている料理がすべて豆が素材のひとつに入っています。豆腐ハンバーグも普通の豆腐ハンバーグよりきめ細かいというかふんわりしてます。実は春巻きも中はおからと大葉などで作ったものでこれはかなりおススメです! 白和えや煮物、冷奴に湯葉と少しずつをたくさん楽しめる御膳になっています。

また、季節の限定御膳もあってこのときは桜御膳(写真)。今は確かあじさい御膳だったと思います。季節限定御膳には茶碗蒸しが付いていてこの中にも豆腐が。デザートには黒豆茶と豆乳プリンもほのかな甘みでとても美味しいです。小山市へ行かれた際には是非お試しください。

業務経理部課長 青木伸郎



『くろまめや』

住 所：小山市塚崎 1507-1

電 話：0285-28-9633

営業時間：10:00~15:00 17:00~20:30 年中無休

発行元：アクティチャレンジ

編集：中村悟志 青木伸郎

小田望月 鶴見尚代

お問い合わせ E-mail
info@acty-challenge.com

ISO 9001 認証取得事業所

